

その他にもいろいろありました・・・

◆熊本県新広域道路交通計画の策定（令和3年6月）

熊本県・熊本市では、新たな国土構造の形成、グローバル化、国土強靱化などの社会・経済の要請に対応するとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化やICT・自動運転等の技術の進展を見据え、今後20～30年間の中長期的な視点で検討を行い、「熊本県新広域道路交通計画」を策定しました。



広域道路ネットワークにおける4つのコンセプト

150分構想

「熊本都市圏と九州各県主要都市を150分で結ぶ高速交通ネットワークを構築します」

90分構想

「熊本都市圏及び熊本空港と県内主要都市を90分で結ぶ幹線道路ネットワークを構築します」

10分・20分構想

「熊本市中心部から高速道路ICまでを約10分で結ぶ循環型ネットワーク、熊本空港までを約20分で結ぶ定時性・速達性を兼ね備えた道路ネットワークを構築します」

ダブルネットワーク構想

「県内外への支援・受援に資する道路ネットワークの強化と多重性・代替性を確保し、ダブルネットワークを構築します」

◆幹線道路ネットワークの整備

- 熊本天草幹線道路 国道57号 宇土三角道路の新規事業化
- 国道3号 植木バイパス（熊本西環状道路～国道3号）及び
国道3号 熊本北バイパス（国道3号～須屋高架橋交差点）の令和4年度開通見通し公表
この道路は、熊本都市圏の環状道路網の一部となり、熊本市の交通混雑の緩和及び交通安全性の向上等を目的とした道路であり、本年4月に国土交通省より、植木バイパス（熊本西環状道路～国道3号：延長0.9km）及び熊本北バイパス（国道3号～須屋高架橋交差点：延長1.8km）区間の令和4年度開通見通しが公表されました。
- 九州中央自動車道（山都中島西IC～矢部IC（仮称）間）の令和5年度開通見通し公表
九州中央自動車道（嘉島JCT～矢部IC（仮称）：延長23.0km）は、地域間の連携を図るとともに、地域産業や物流効率化の支援に寄与し、災害時における代替え道路として機能する道路であり、このうち山都中島西IC～矢部IC（仮称）間：延長10.4km区間の令和5年度開通見通し公表がされました。

さてさて来年は・・・【R4年(2022年)の主な予定】

●国道266号(望薩峠拡幅)	【天草市】	延長1.07km	R4春頃供用予定
●国道443号(辺田見工区)	【御船町】	延長0.20km	R4春頃供用予定
●(主)小川泉線(落合工区)	【八代市】	延長0.66km	R4春頃供用予定
●(主)荒尾長洲線(野原バイパス)	【荒尾市】	延長1.56km	R4冬頃供用予定
●(一)河陰阿蘇線(黒川工区)	【南阿蘇村】	延長1.10km	R4冬頃供用予定
●(一)内牧坂梨線(北坂梨工区)	【阿蘇市】	延長1.50km	R4冬頃供用予定
			・・・など

熊本県

道路かわら版 2021

※対象期間：2021年1月～12月

国道325号 新阿蘇大橋が開通

【南阿蘇村】



平成28年4月に発生した熊本地震により落橋した阿蘇大橋は、約600m下流に位置を変え、令和3年3月、新たに「新阿蘇大橋」（延長525m）として生まれ変わりました。
今回の開通により、熊本地震で傷ついた阿蘇への国道及び県道が全て開通しました。

令和3年（2021年）12月27日
道路整備課・道路保全課・都市計画課

今年の主な出来事・供用箇所

令和3年(2021年)1月~12月

国道325号(菊池拡幅)の一部開通【菊池市】



4車線化の整備を進めている国道325号の菊池拡幅(菊池市北宮~森北)は、令和3年3月、菊池市森北地区の約1kmを供用開始しました。これにより、菊池市森北~大津町(国道57号)までの約10.2kmが4車線化され、交通の円滑化等が期待されます。

(主)八代鏡宇土線(新松原工区)の開通【宇土市】



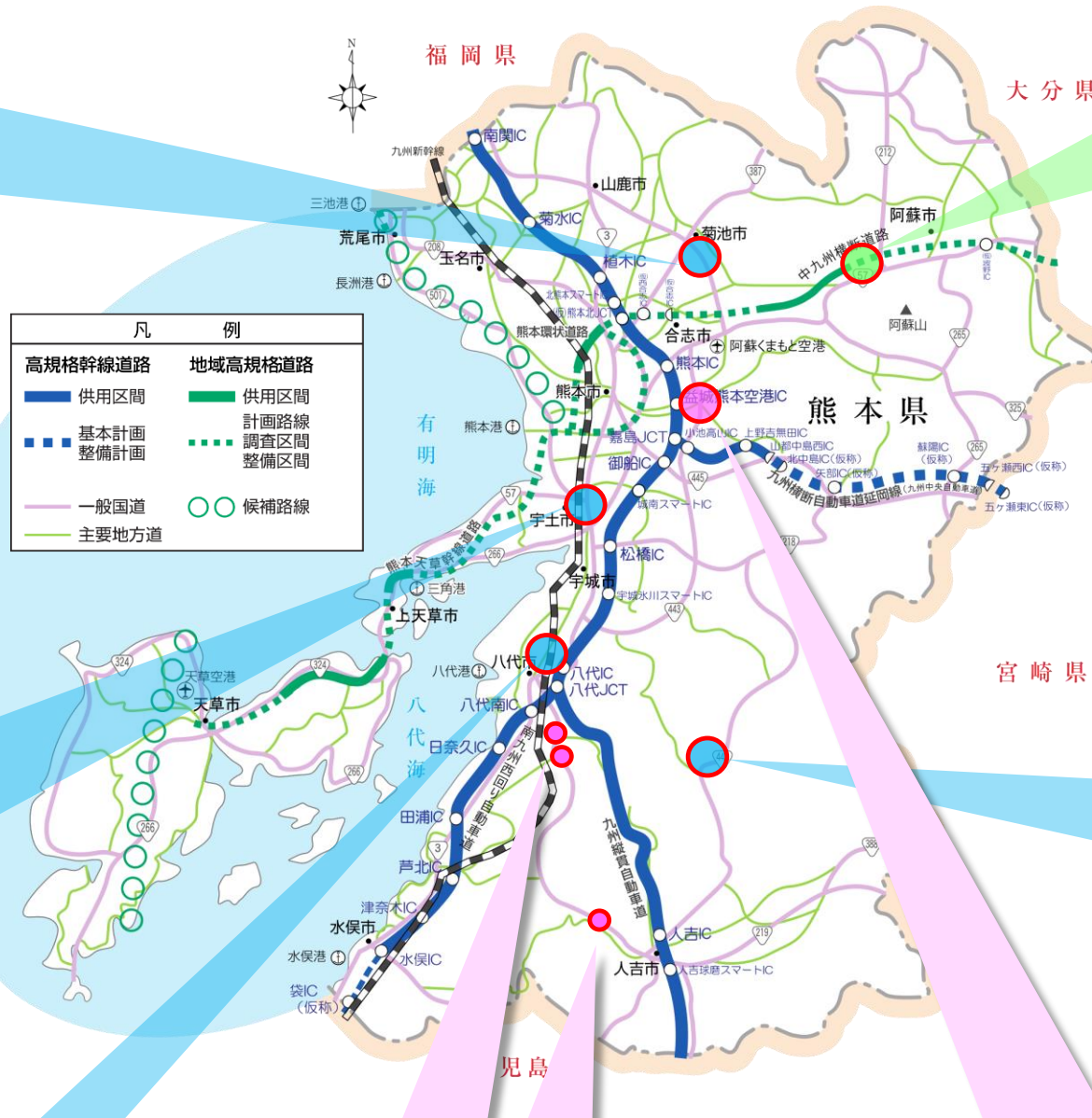
(主)八代鏡宇土線の新松原工区(宇土市新松原町)の0.16kmを供用開始しました。当該箇所は、国道3号、57号と接続する交差点で、県内でも有数の渋滞箇所でしたが、今回の供用により安全で円滑な交通の確保や走行時間短縮による産業の活性化に寄与することが期待されます。

(一)新八代停車場線(西片工区)の一部開通【八代市】



(一)新八代停車場線(西片工区)(八代市千丁町)の0.26kmを部分供用開始しました。これにより交通隘路区間が解消され、生活道路としての機能向上及び安全な交通環境の形成に寄与することが期待されます。

凡 例	
高規格幹線道路	地域高規格道路
■ 供用区間	■ 供用区間
■ 基本計画整備計画	■ 計画路線
■ 一般国道	■ 調査区間
■ 主要地方道	■ 整備区間
	○ 候補路線



阿蘇駅前無電柱化事業の完了【阿蘇市】



(一)阿蘇停車場線ほか1路線及び市道阿蘇駅1号線ほか1路線において、県と阿蘇市が行った無電柱化事業が、令和3年3月に竣工しました。これにより、阿蘇駅周辺の防災機能や景観が向上しました。

国道445号(九折瀬橋)の開通【五木村】



五木村の振興に資する国道445号の九折瀬橋を含む0.43kmを令和3年3月に供用開始しました。これにより、五木村の主要な産業である林産業の促進や観光産業の促進が期待されます。

令和2年7月豪雨からの復旧・復興

◆国による権限代行区間において、3つの仮橋が通行可能に!



令和2年7月豪雨により流失した国道219号の鎌瀬橋、主要地方道坂本人吉線の坂本橋及び一般県道遠原渡線の相良橋の3橋について、国の権限代行業により仮橋を架設し5月28日までに通行可能となりました。また、国道219号の大野大橋から人吉市方面(延長約11km)について、7月29日から一般車両の通行が可能になりました。

平成28年熊本地震からの復旧・復興

◆(主)熊本高森線((都)益城中央線外1路線)復興後の姿が目に見えて来ました!



創造的復興のシンボルとなるまちづくりを支援する主要な取り組みの一つである(主)熊本高森線4車線化事業は、当面の目標として令和5年度までに熊本市側から惣領交差点までの約1.6kmの供用開始に向けて全力で取り組んでいます。また、一部区間では両側の歩道が完成し、復興後の姿が目に見えてきました。